

・ 祁答院町の世帯数	1,818世帯
・ 大村の世帯数	362世帯
・ 祁答院町の人口	男 1,754人 女 2,071人 合計 3,825人
・ 大村の人口	男 380人 女 423人 合計 803人

- これからの行事予定
- ・ 祁答院中体育大会 9月27日(日)
  - ・ 大裏小運動会 10月4日(日)
  - ・ 消費生活講座 10月9日(金)
  - ・ 市民運動会 10月11日(日)
  - ・ 地区運動会 10月25日(日)

# 一足早く 綱引き大会



大村町通りで恒例の綱引き大会が開催されました。中秋の名月には一週間早い9月19日(土)、東の空には、七日月が顔を出し、時折雲間に見え隠れするという天候で、およそ200人の若男女が秋の夜長を楽しみました。まだまだ残暑が続きますが、里山はひっそりと秋の気配。「名月や池をめぐりて夜もすがら」せちがらい世の中、たまには風流に浸ってみましょう。

## 綱練り

20人の力を結集してつむがれた綱の長さは、36メートル。出来上がった綱は大村町恵比寿神社に奉納しました。



## 綱引きのあとの「おはなし会」

今年、永福寺の本堂を借りての「おはなし会」。子どもから一般の方々まで総勢80名が、お寺の本堂に集まりました。今年のお話は「ひさの星」と「帰ってきたつりがね」。小さな子ども達には少し難しい話でしたが、熱心に聴き入っていました。怪談「つべらぼう」の上映もあり、人いさいで暑くなっていた本堂も少し涼しくなりました。



## 版画で個性を表現

8月24日、初めての試みとして版画教室が開催されました。16名の受講生は、ご覧のとおりです。



講師は、今年度大裏小に赴任された多趣多才の齋藤博校長。A4版の発泡スチロールは彫刻刀などを使う必要はなく、鉛筆で線を刻んでいくという手法で誰でも気軽に版画に親しめるというもの。皆さん、思い思いの絵を刻みながら楽しんでいました。近いうちに、受講生の自信作を展示するつもりです。



## 「原子力防災を知ろう」出前講座開催 8月9日(日) 11

旧聞で恐縮ですが、8月9日(日)コミュニティセンター多目的室で、標題の講座が開催され、地区民47名が出席しました。内容は、放射線に関する基礎知識の必要性などを踏まえた話で、約1時間に亘り説明がなされ、その後、質疑応答の時間が設けられたのですが、「避難経路に対する不安」「薩摩川内市にありながら上手・黒木地区は圏外であるのは何故か」また、「稼働後の市役所の対応について」などさまざまな意見が出されました。なお、コミュニティセンターには、目に見えない放射線量を測る「サーベイメータ」が配備してありますので、興味のある方は是非使ってみてください。

## 消防団による水利清掃作業

9月6日(日)、地域にある防火水槽の点検や清掃を行いました。また、7月19日(日)は、地域づくり部会で久富木川河川敷の除草作業も行われています。8月30日(日)の、スローピッチソフトボール大会は雨天のため中止。

